

氏名 Name 譚 振華

日付 Date 2023/11/14

国際都市おおた大使活動報告レポート Cool OTA-KU Ambassador Monthly Report

(前月分のレポートを翌月 15 日までに kokusai@city.ota.tokyo.jp に送ってください)

(Please send your monthly report to the above email address by the 15th of each month)

1 今月は国際都市おおた大使としてどのような活動をしましたか？

What activities have you carried out as an ambassador this month?

(該当するものにチェックをして詳細を記入してください。いくつでも可)

(Please tick the appropriate box(es) and write down details of your activities)

- 来賓として登壇したり、紹介・挨拶があったイベント
Events attended as an important guest / events where you were introduced or gave a speech
《 10/21 洗足文化センター わいわいポッチャ大会 》
- 主催者側として参加したもの 例：ファッションショーや交流イベントなど
Events which you helped to organize e.g. fashion shows or exchange events
《 》
- 講師、会議、研究会等のMC、通訳等、知識・経験を必要とするもの
Activities requiring skill / knowledge e.g. lectures, conferences, research groups, interpreting
《 9/4 多文化共生推進協議会 》
- その他 Other
《 10/29 日本語でプレゼンテーション 》

2 今月の大田区 PR 情報発信について Promotion of Ota City as an ambassador

(Please tick the appropriate box(es) and write down details)

発信媒体 PR medium	発信した内容 PR contents	大田区 PR 情報の掲載回数 Number of posts promoting Ota City information
<input checked="" type="checkbox"/> Facebook 等 SNS Facebook or other social media <input type="checkbox"/> ブログ Blogs <input type="checkbox"/> その他 Other	日本語でプレゼンテーションの様子を 発信した。	1 回

★欄が足りない場合は、付け足してください。Please feel free to add more cells if you have carried out lots of different promotions!

- 3 参加した大田区のイベントの感想・大田区の魅力など PR についてご記入ください。
写真があれば写真も添付してください。

Please tell us your thoughts on the Ota City event(s) you have attended, or write about your PR of Ota City's attractions. If you have photographs, please attach them to this report.

○イベントの感想など Your impressions of Ota City's event(s) etc.

10月21日に洗足区民センターで開催された「わいわいボッチャ大会」に参加しました。この大会は毎年春と秋に2回行われており、私はこれまで3回参加しており、ボッチャに自信を持っています。チームは決勝戦まで進み、12チーム中4位の成績を収めました。また、国際都市おおた大使として、区民の皆さんと温かい交流ができ、非常に嬉しかったです。今後も継続的に参加していきたいと考えています。



そして、10月29日におおた国際交流センターで行われた「日本語でプレゼンテーション」において、私は「39歳の挑戦」というテーマで発表しました。40代を前に挑戦していることや思っていることを紹介し、聴衆に挑戦の気持ちを共有したかったです。幸運なことに、優秀賞をいただきました。これは私にとって3回目の参加で、以前の経験から学んだことが実りました。今後は発表者ではなく、ボランティアとしてこのコンテストを支えたいと考えています。

